資料７

第12回 東北中央自動車道の利活用促進による地域活性化協議会

東北中央自動車道　下院内IC～雄勝こまちIC（横堀道路）供用後の交通状況について

令和８年３月２４日

湯沢河川国道事務所

雄勝こまちICと道の駅おがちとのアクセス性向上

雄勝こまちICは、秋田・山形県境の休憩施設、観光拠点としての役割を持つ道の駅おがちとのアクセス性を向上し、東北中央自動車道のサービスエリアやパーキングエリアとしての代替機能が期待されます。



国道13号湯沢市雄勝地区の現状



・冬期は積雪により道幅が狭くなり、歩行者や車の通行に障害が発生します。



・冬期は地吹雪が発生し、視界不良となるため、ドライバーはより慎重な運転を強いられます。

東北中央自動車道周辺の高規格道路整備状況



凡例：開通区間／事業中区間／JCT／主なIC

N

横堀道路の開通により期待される整備効果

- 効果1 冬期の交通障害による広域迂回の解消
- 効果2 地域の生活や救急医療活動の支援
- 効果3 輸送の信頼性向上による経済活動の支援
- 効果4 山形・秋田県間の周遊観光を支援

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
〒012-0862　湯沢市関口字上寺沢64-2　TEL 0183-73-3174　FAX 0183-73-3179
URL https://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/index.html

令和7年10月　作成



令和7年 11月22日 開通

E13 東北中央自動車道
下院内IC～雄勝こまちIC



横堀道路



国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所

計画緒元

■土 工 部	起点：秋田県湯沢市下院内（しもいんない）
	終点：秋田県湯沢市桑崎（くわがさき）
■延　　長	3.7km
■道路規格	第1種第3級
■車 線 数	完成2車線
■設計速度	80km/h

事業経緯

■事 業 化	平成27年度
■用地着手	平成28年度
■工事着手	平成28年度
■供　　用	令和7年11月22日

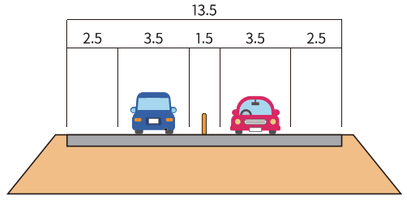
横堀道路について

湯沢市下院内から湯沢市桑崎までの延長3.7kmの自動車専用道路です。平成27年度に事業着手し、この度令和7年11月22日に開通することとなりました。

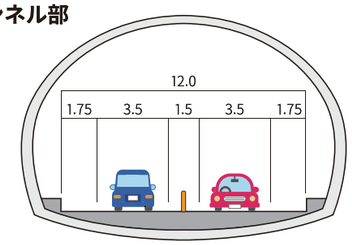
開通後は福島県相馬市から横手市を結ぶ東北中央自動車道の一部として冬期の円滑な交通確保や信頼性向上により経済活動・周遊観光を支援します。

道路構造

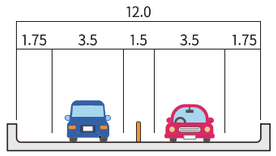
■土工部



■トンネル部



■橋梁部

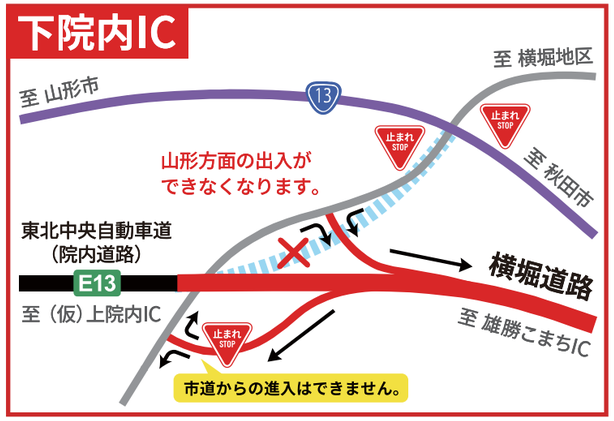


（単位：m）

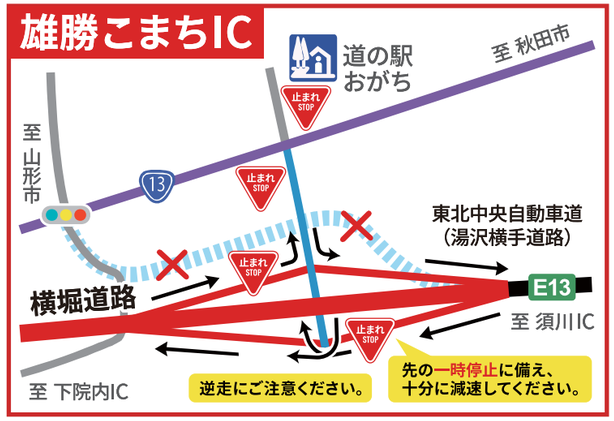
IC形状概要図

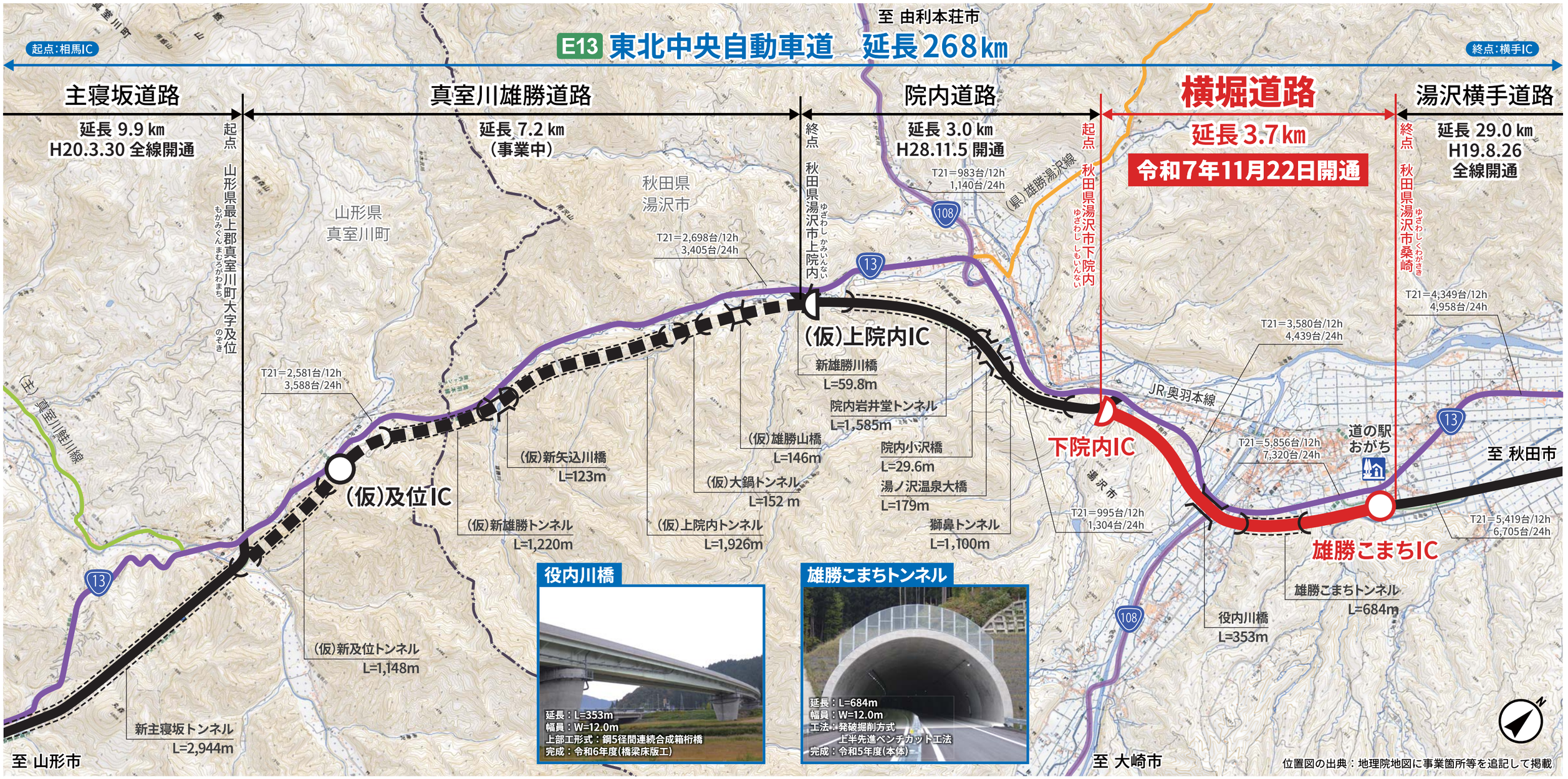
〈横堀道路〉 本線・ランプ　アクセス道路（新設）
〈現在の道路〉 東北中央自動車道　国道　アクセス道路（従来）　市道

下院内IC



雄勝こまちIC





役内川橋

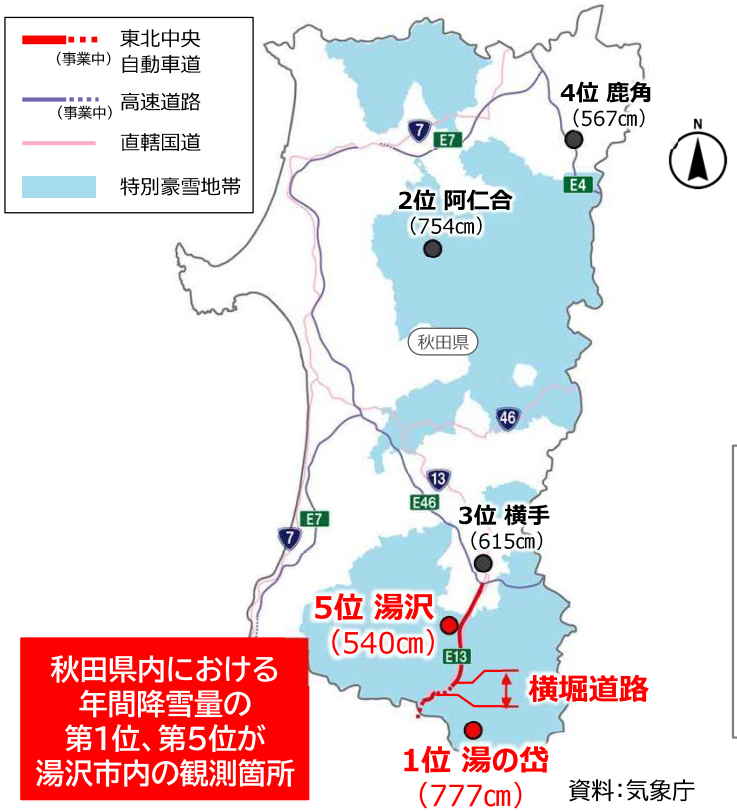
雄勝こまちトンネル

位置図の出典：地理院地図に事業箇所等を追記して掲載

冬期の交通機能低下の解消や安全性・信頼性向上に寄与

○ 当該地域は秋田県内でも有数の豪雪地帯であり、冬期間は低温や積雪、地吹雪等による事象で交通環境への影響が著しい。
○ 当該地域の国道13号では、路面凍結や幅員減少による速度低下のほか、視界不良や追突事故による通行止めが発生するなど、信頼性に課題。
○ 東北中央自動車道の一部となる横堀道路の整備により、冬期の交通機能低下を解消し、信頼性向上が期待される。

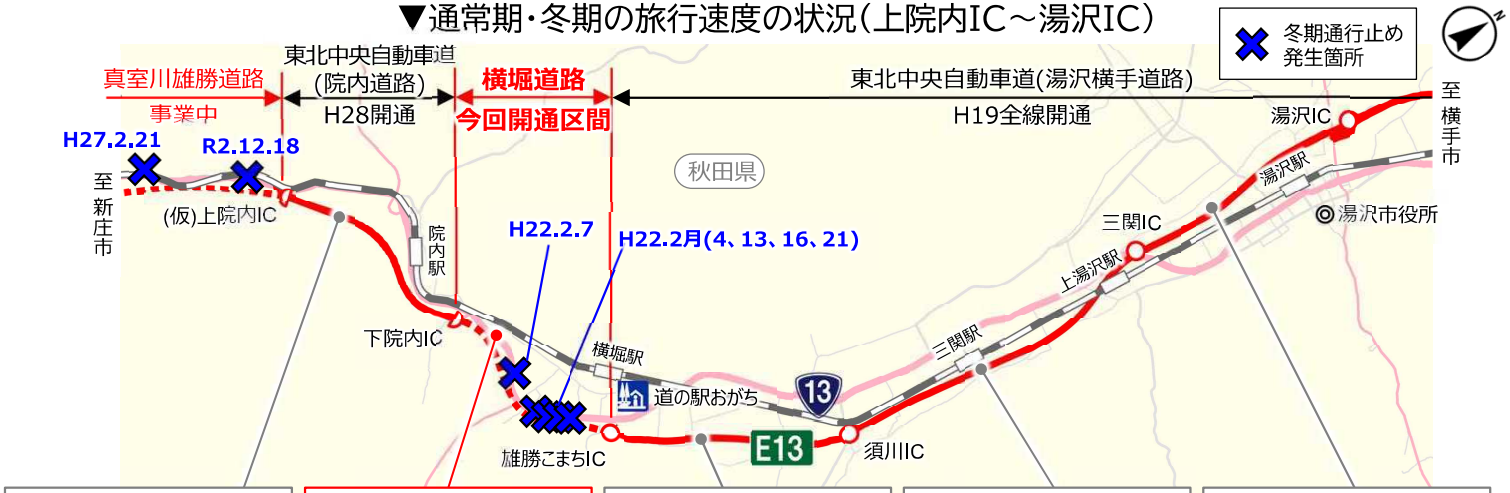
▼秋田県内の年間降雪量トップ5（R6年度）

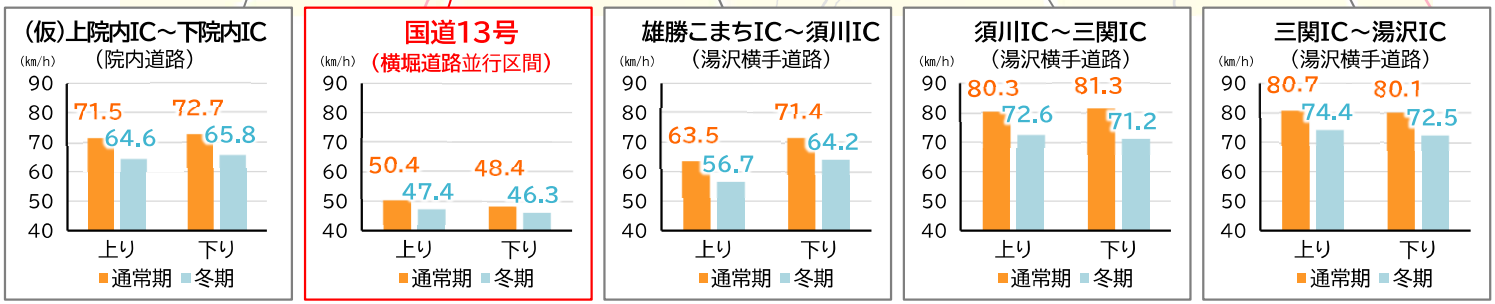


秋田県内における年間降雪量の第1位、第5位が湯沢市内の観測箇所

資料：気象庁

▼通常期・冬期の旅行速度の状況（上院内IC～湯沢IC）



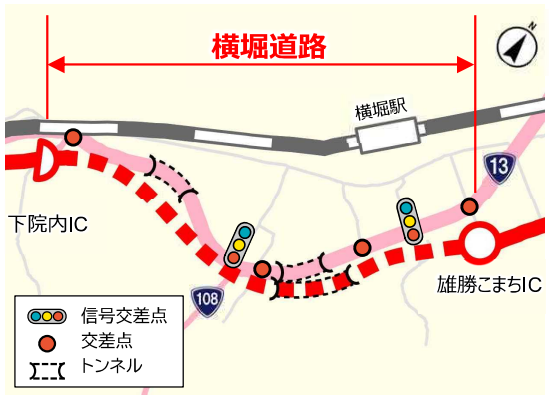


資料：ETC2.0データ　※通常期：R6.9-11月平日、冬期：R6.12-R7.3月平日のうち降雪量20cm以上の日
※集計時間帯：昼間12時間平均（7時～19時）





▼横堀道路区間の交差点箇所数・走行環境の変化



◆交差点箇所数

国道13号（横堀道路並行区間）
6箇所

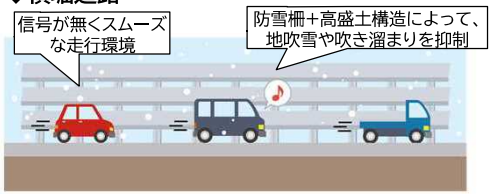
横堀道路
0箇所

走行性の向上・事故リスクの低減

◆国道13号（横堀道路並行区間）



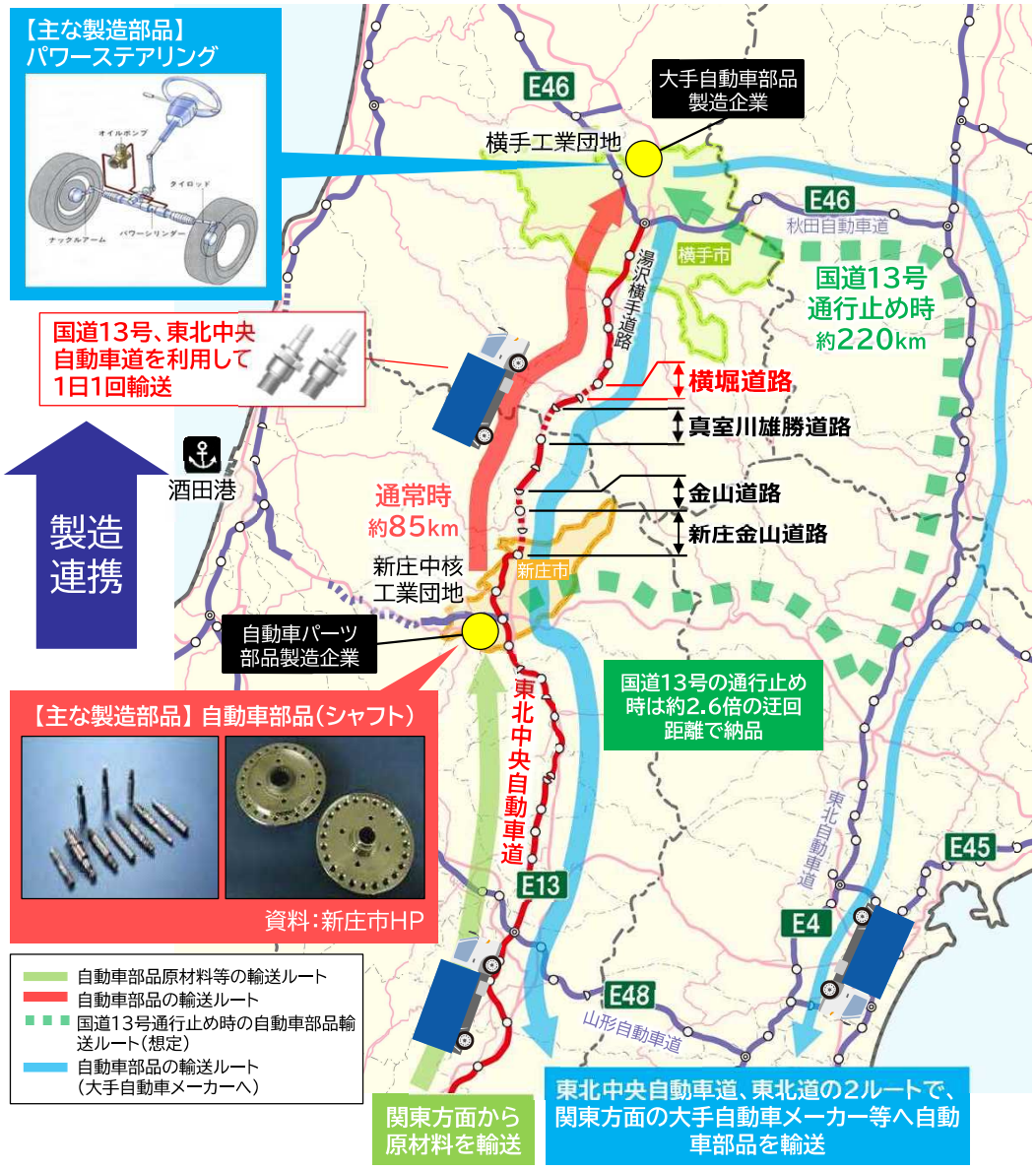
◆横堀道路



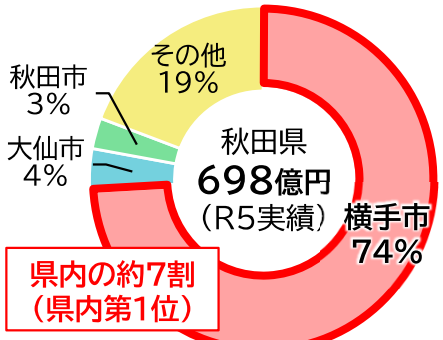
東北中央自動車道の整備により自動車部品製造業の連携を支援

○ 横手市では、輸送用機械器具の製造品出荷額が県全体の約7割を占める等、自動車部品製造業が集積。更なる発展を目指し工業団地を拡張中。
○ 横手市の自動車部品製造企業では、新庄市の企業から自動車部品を調達する等、山形県・秋田県間のサプライチェーンが構築されているが、国道13号（東北中央自動車道未整備区間）で通行止めが発生した場合は、自動車部品の輸送時に大きな迂回を強いられる。
○ 横堀道路の整備により、輸送信頼性が向上し、円滑なサプライチェーンの実現を支援。

▼自動車部品の輸送ルート

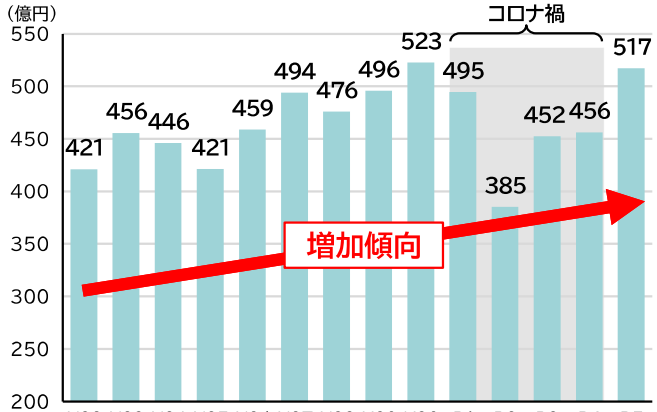


▼秋田県における輸送用機械器具の市町村別製造品出荷額シェア



輸送用機械器具製品：自動車、船舶、航空機、鉄道車両及びその他の輸送機械器具（自転車など）示す
資料：経済構造実態調査

▼横手市における輸送用機械器具の製造品出荷額



資料：工業統計、経済センサス、経済構造実態調査

新庄市自動車部品製造企業の声

◆原材料の入荷、製造品であるシャフトの出荷に東北中央自動車道を利用しています。
◆東北中央自動車道の未開通区間で通行止めが起こると大きな迂回をして納品しなければいけなくなります。国道13号と東北中央自動車道のダブルネットワークになることは大きいです。

横手市自動車部品製造企業の声

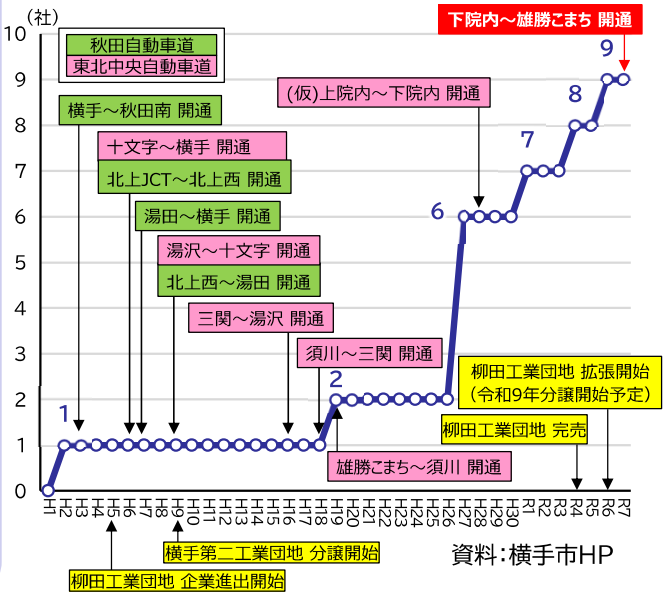
◆東北中央自動車道の開通により、出荷ルートの選択肢が増えました。

横手市関連部署の声

◆横手市では工業団地の拡張を進めていますが、災害に強いこと、複数の高速ルートが利用可能となることを企業にアピールしています。



▼横手市における平成以降の自動車部品製造企業数（累積）と道路整備状況



資料：横手市HP

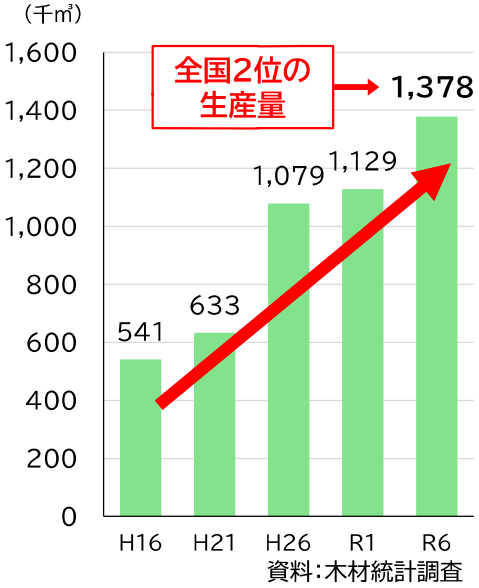
東北中央自動車道の整備により木材輸送を支援

○ 秋田県は全国第2位のスギの生産量を誇り、年々増加傾向にある。横手市や湯沢雄勝地域の森林組合においてもスギの出荷量は増加傾向であり、令和6年度の出荷量は過去最多となった。
○ 山形県最上地域では、全国有数の木材加工会社がH29年に新工場を稼働し、横手市や湯沢雄勝地域の森林組合から多くの原木を仕入れている。
○ 横堀道路の整備により、県境をまたいだ原木や木材加工品の安定輸送及び走行性の向上による安全性・ドライバーの負担軽減が期待される。

▼横手市及び湯沢雄勝地域の森林組合からの輸送経路



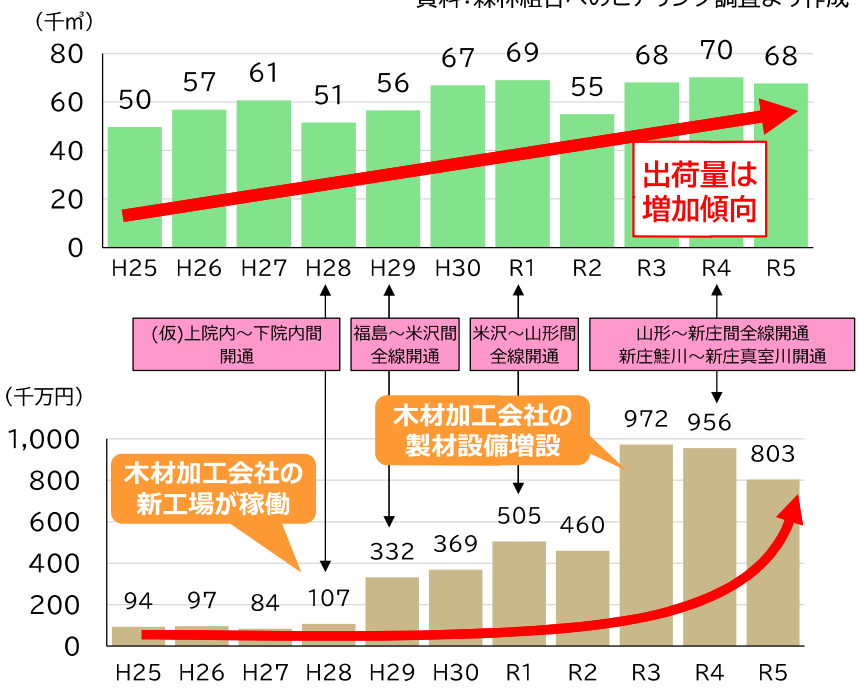
▼秋田県のスギの生産量



資料：木材統計調査

▼横手市及び湯沢雄勝地域の森林組合におけるスギ出荷量推移

資料：森林組合へのヒアリング調査より作成



▲新庄市における木材・木製品の製造品出荷額の推移

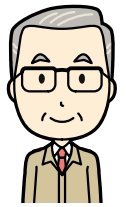
資料：工業統計、経済センサス、経済構造実態調査

森林組合の声

◆地域で切り出した原木を周辺各地に出荷していますが、最上地域には4～5回/日程度の輸送を行っています。

◆走行中の揺れや事故などで、丸太が荷崩れを起こさないように慎重に運ぶ必要があるので、交差点の右左折はなるべく避けています。

◆東北中央自動車道が開通すれば、輸送の行き帰りの時間が大きく短縮し、次の輸送に向けた積み込みに十分な時間が確保できます。また、ドライバーの休憩時間が増すことで就業環境が向上し、ドライバーの確保に繋がると期待しています。



ネットワーク信頼性向上により地域農業を支援

○ 湯沢市三関地域の伝統野菜である「三関せり」の出荷は冬期がピークであり、東京方面には東北中央自動車道や国道13号を走行して出荷。
○ 「三関せり」は根もおいしく、食感が良い特徴から人気があり、近年は販売単価が上昇し過去10年間で出荷額が約2倍となっている。
○ 「三関せり」は、冬期が出荷のピークとなるため、冬期間の走行への不安や通行止め発生による輸送時間ロスなどの心配を抱えている。
○ 横堀道路の整備により、輸送時間の短縮や冬期交通の安定性・信頼性が向上し、地域農業を支援。

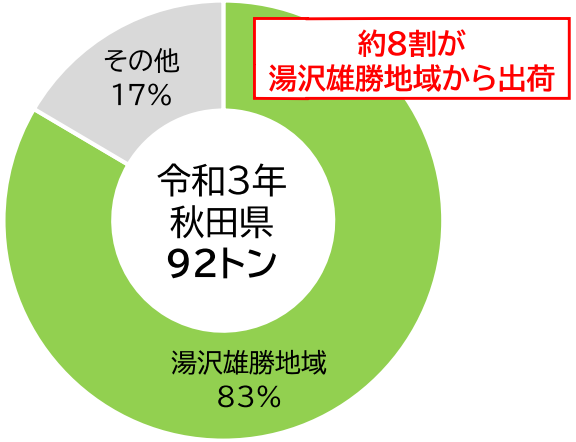
▼「三関せり」の出荷ルート



三関せりの特徴
三関せりは白く伸びた根が特徴。根までおいしく食べられるせりとして、近年とても高い人気を集めています。鮮やかな色、爽やかな香り、シャキシャキとした歯触りの三関せりは、鍋料理にもよく合い、地元のきりたんぽ鍋には欠かせない食材となっています。
資料：農林水産省HP

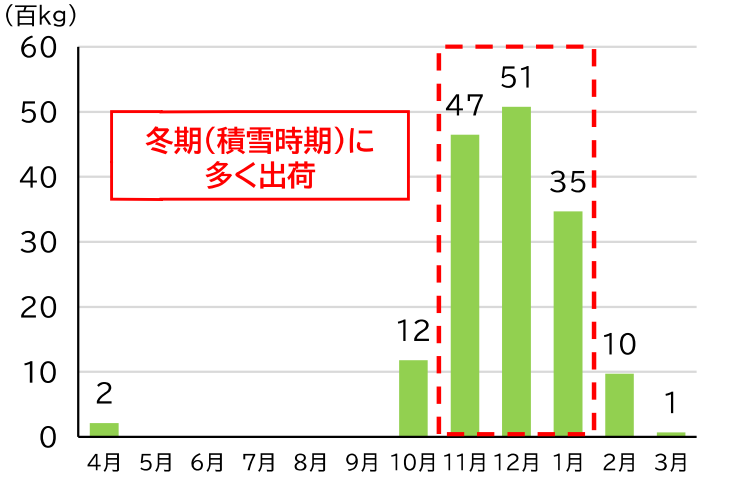
※三関IC～川口JCT間で算出
※R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時平均旅行速度より算出
（東北中央自動車道でデータのない区間は80km/h）

▼秋田県産せりの出荷量シェア



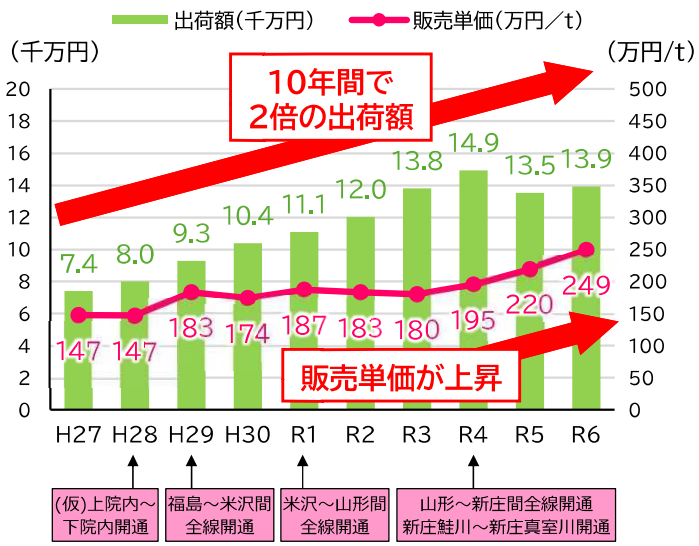
資料：地域特産野菜生産状況調査、
生産関連団体ヒアリング調査より作成

▼秋田県産せりの取り扱い時期



資料：東京中央卸売市場
市場統計情報（R6年度）

▼「三関せり」の出荷額と販売単価



資料：生産関連団体へのヒアリング調査より作成

農業関係者の声

◆三関せりは、シャキシャキとおいしい根っこの部分が長く、近年は人気が出て、高い価格で取引されるようになってきました。そのため、今後も生産拡大を目指しています。

◆東北中央自動車道は、国道13号に比べて特に冬期の輸送安定性が優れており、雪があっても問題なく走れますが、未開通区間では雪の問題があります。

◆未開通区間の国道13号が大雪等で通行止めになると迂回での時間ロスが大きいです。東北中央自動車道が開通すれば、大幅な迂回が不要になるため、東北中央自動車道への期待は大きいです。



湯沢雄勝地域における観光支援や地域間の観光連携促進に期待

○ 湯沢雄勝地域は「稲庭うどん」、「川原毛地獄」、「犬っこまつり」等の多くの観光資源を有し、年間約200万人（うち冬期約50万人）の観光客が来訪。
○ 豪雪地域であることから、冬期における山形県～秋田県等の地域間の移動は、通常期に比べて移動時間が長く、時間のばらつきが大きい。
○ 横堀道路の整備により、山形県～秋田県のアクセスが年間を通じて向上し、観光入込客数の増加や、地域間の観光連携の促進が期待される。

▼稲庭うどん工場見学・手造り体験



資料：湯沢市観光物産協会

▼川原毛地獄



資料：湯沢市

▼犬っこまつり



資料：湯沢市

▼道の駅おがち



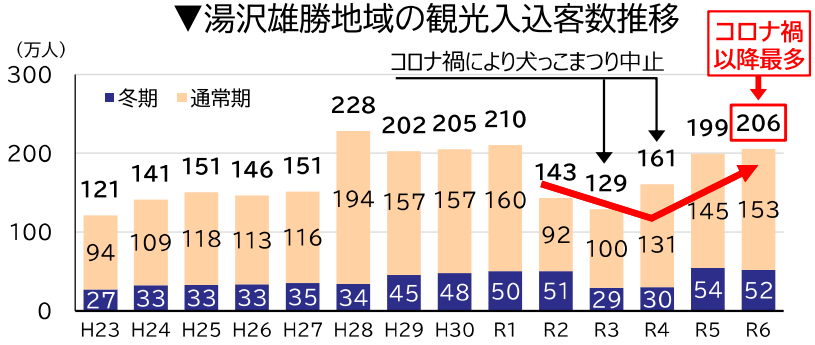
資料：道の駅おがち

▼東北中央自動車道沿線（最上地域～湯沢雄勝地域）の主な観光地



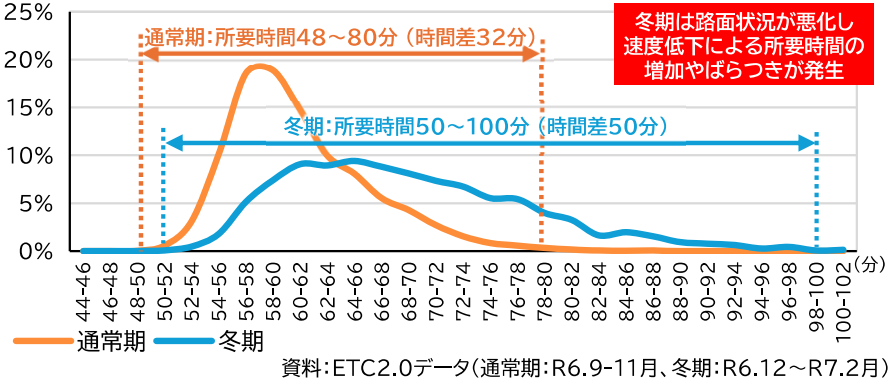
資料：秋田県観光統計（R5）、山形県観光者数調査（R5）、
宮城県観光統計（R5）、ゆざわジオパーク・ジオサイトマップ

▼湯沢雄勝地域の観光入込客数推移



資料：秋田県観光統計（冬期：12～3月、通常期：4～11月）

▼所要時間のばらつき（湯沢市～新庄市）



資料：ETC2.0データ（通常期：R6.9-11月、冬期：R6.12～R7.2月）

地域観光関係者の声



◆秋田～山形県境は高速道路の未整備区間が複数あるため、山形方面との往来に係る利便性に課題があります。
◆豪雪地帯のため冬期間は道路幅の減少やスタック等の通行止めの危険もあるため、山形県方面からの来訪者は大きく減少しています。
◆横堀道路の開通により、移動時間の短縮とともに安全性が高まることから、結果として来訪者の利便性も高まることが期待できます。

東北中央自動車道 下院内IC～雄勝こまちIC（横堀道路）の開通効果※開通1ヶ月後

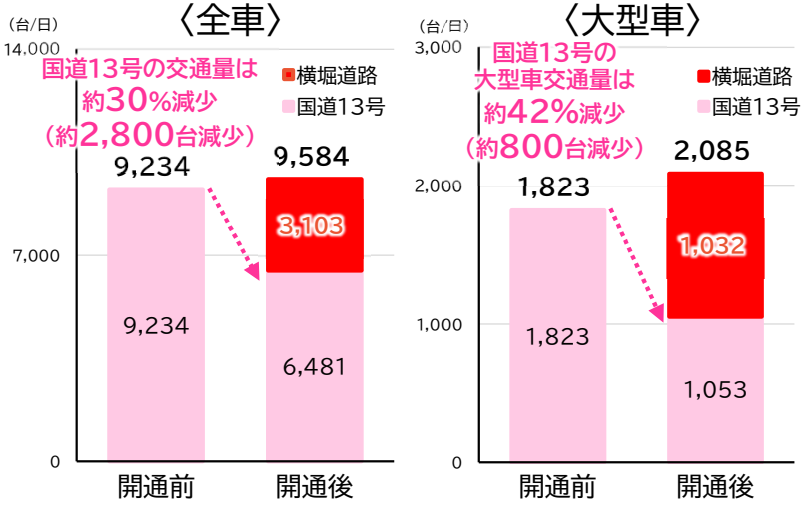
○ 令和7年11月22日（土）に開通した東北中央自動車道 下院内IC～雄勝こまちIC（横堀道路）の交通量は3,103台/日。
○ 隣接する上院内IC～下院内ICの交通量は2,446台/日で、横堀道路供用前と比較し約1,100台/日の交通量増加。
○ 並行する国道13号の交通量は約30%（約2,800台/日）減少。特に大型車は42%減少。横堀道路に多くの交通が転換。
○ 運送会社への聞き取りから「安定した輸送が可能になった。燃料費も節約に」「冬期も安心して通行できる」と評価。

▼開通前後の東北中央自動車道 上院内IC～雄勝こまちICの交通量





▼開通前後の交通量の変化 ※断面A



出典：【開通前】交通実態調査結果 R7.10.28（火）
【開通後：横堀道路】常時観測トラフィックカウンターデータ R7.11.25（火）～12.3（木）の平日平均値
【開通後：国道13号】R7.11.25（火）～12.3（木）の平日平均値（推定値※）
※R7.11.27（木）の交通実態調査結果と近隣の常時観測交通量を基に算出した推計値

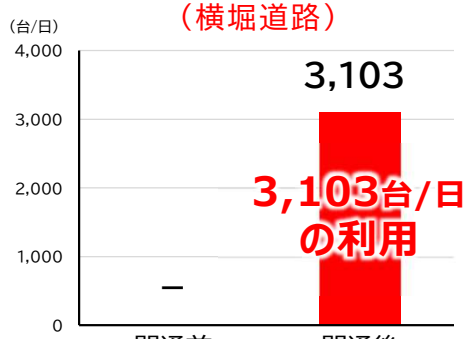
隣接区間

上院内IC～下院内IC（院内道路）



今回開通区間

下院内IC～雄勝こまちIC（横堀道路）



出典：【開通前】R3全国道路・街路交通情勢調査
【開通後】常時観測トラフィックカウンターデータ
R7.11.25（火）～12.3（木）の平日平均値

道路利用者の声





〈 地元物流企業 〉
◆信号交差点を回避できるため、減速と加速を繰り返すことなく、安定した輸送が可能となりました。燃料費の節約にもつながっています。
◆豪雪地帯であるため雪の問題に対する効果が大変大きいです。下院内～雄勝こまちIC（横堀道路）は、冬期間も安定した速度で走行でき、除雪体制もしっかりされているため、安心して通行できます。